

平成三十年二月一日発行(毎月一回一日)
書 象 第六十六巻 第二号 通巻七四七号

書象



日本書道芸術協会の
「書象」は、日本書道芸術協会の
会報として発行されています。



日本書道芸術協会

2018-2

巻頭言

第57回書象展開催にあたって

副理事長
事務局長

山口 啓山

月日の経つのは早いもので、書象展も今年57回展を迎える。例年千二百点前後の出品があり、出品者の研鑽の成果がいつも会場を圧倒する。最近の傾向として、古典に深く立脚してその人らしさを追求する作品が増加したことは頼もしい限りである。

書は心を養うものであるという。そんな中で、書の技術の向上は何よりも肝心なことで、技術的にめざましい進歩のあった人は、必ずそこに精神的な成長、人間としての成長が窺える。それ故、技術の錬磨向上に真剣に取り組む姿勢は甚だ大切なのである。

書象会の創始者上條信山先生の書を拝見すると、書の深さと美しさが無限であることを実感する。気品高く、生き生きとした墨跡に接すると、先生の毅然たる生き方が迫ってきて書象会の精神の原点に立ち返ることができる。こうした先師のご意志を皆で共有して第57回展を盛会裡に終えたいと考える。

会員の皆さん、書象展は会員相互の切磋琢磨する場として常に開放されています。自らの段階で、自らの立場で、自由に、そして多くの仲間をお誘い合わせの上、奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。



1987年読売書法展 上條信山先生書「一切空」



草堂。通稱総石

2月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

行書臨書規定【臨規】

(師範・準師範・段位)

集王聖教序

上條信山先生書

色 子 不 舎 利

・中心に気をつけて伸びやかに書きたい。

厄…二画目の左下へ方向、横画の角度に注意。

舎…左右の払いの長さ、口の位置がポイント。

利…筆順、筆脈に気をつけて、ゆったりと。

子…たて画の曲がり、横画の位置に注意する。

色…上部を大きく、空間も大切に。

不…最終画は、やや下の方に置き安定させる。

不

色

子

利

舎

厄

(芒) 厄を(度えり)。舍利子。色は(空に異なら)ず。

2月20日必着
出品券を貼付

行書臨書規定【臨規】（級位）

集王聖教序

上條信山先生書

皆
空

皆空

・余白の広狭に注意し、筆脈を意識して書く。
皆…文字上部を大きく。
「日」は右寄せ。

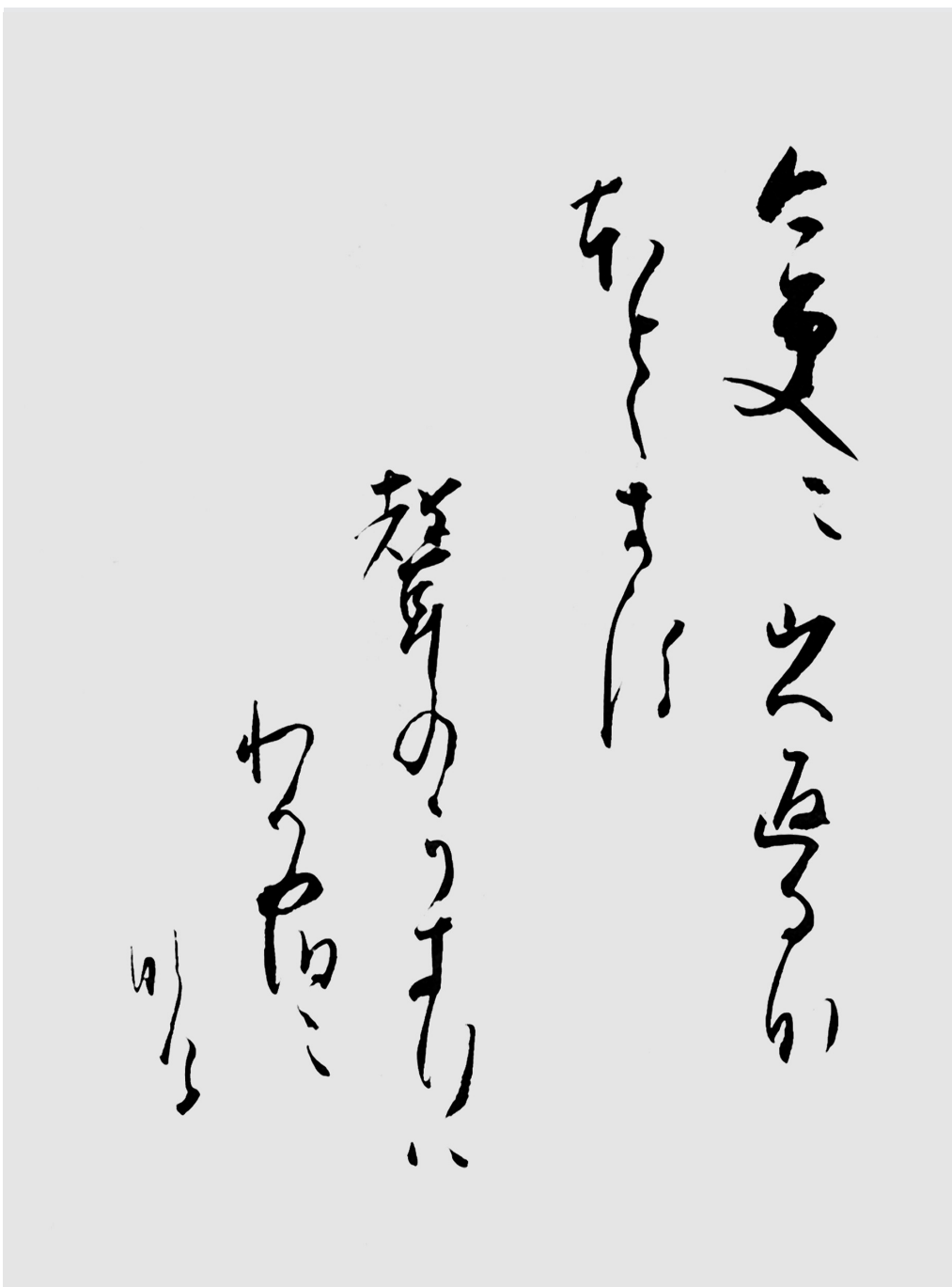
皆

空…冠を最大幅に、背勢を意識する。

空

仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條 信山 先生 書

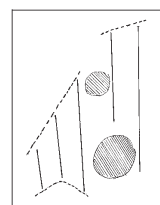


今更に（二）山へ返るな（那）ほ（本）とと（ゝ）ぎ（支）す（須）
 聲のか（可）ぎ（支）りは（八）わが（可）宿に（二）な（那）け（介）

（古今和歌集）

2月20日必着
 出品券を貼付

・全体構成は左図を参照。



・墨をたっぷりつけて
 強弱をつけながらゆっ
 くり運筆しよう。

【今更】

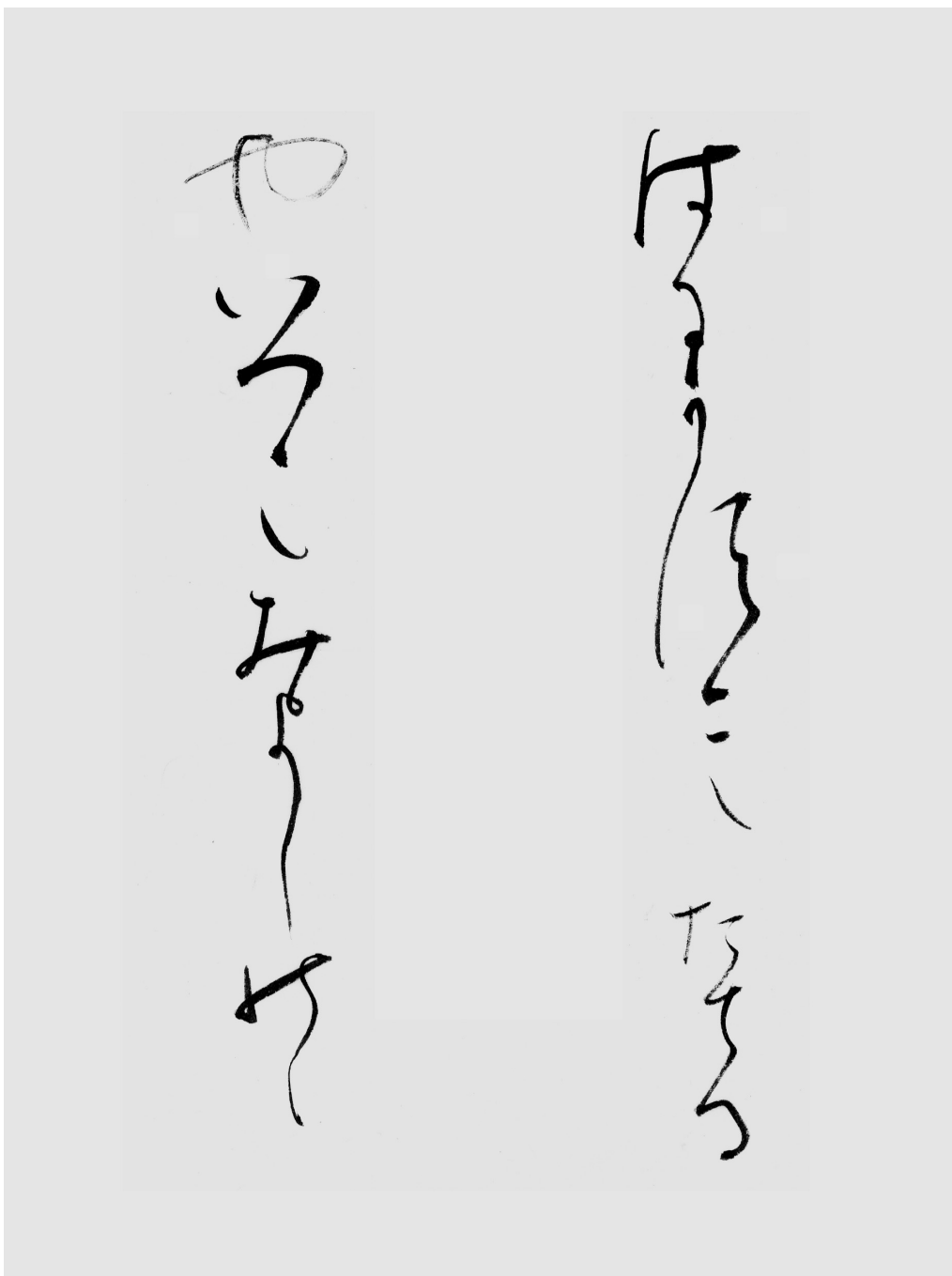
今更

【聲】

聲

【わが宿】

わが宿



はるが（可）す（須）み（三）たてるやいづこみよしの（能）の（ノ）

・二字、三字連綿を機械的に練習する。

・形、線ができたら潤渴をつけてみるとよい。二行目の二字目

「い」で墨を継ぐ。

・文字の大小の変化の工夫を。

・文字の横への広がりも併せてとらえ、誌面に（ ）（ ）などを鉛筆で記入するものよい。

「はるが（可）」

「みよし」

「す」



蘆花双岸ノ雪
夜月一江ノ霜

2月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

全体が太めの線で書かれて
いる。墨量を多めに
運筆し、文字の大小
にも留意して書く。

【蘆】 岸 【雪】 夜 【霜】 霜

漢字条幅規定【条規】

田中節山先生書

段級位を明記のこと

功成而弗居

節山書



功成而弗居（老子）
功成りて居らず（弗）

書き方 大小長短の字のまとめ方を意識して書く。

「功」…力の第二画を伸びやかに。

「成」…第四画を力強く。やゝ大きめに。

「而」…小さめに、そして太く。

「弗」…二本の縦画と長さを工夫して。

「居」…少し小さめに、そして墨を軽く。

条幅随意【条随】

市澤静山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

国を去りて三巴遠く楼に登れば万里春なり

静山書

国を去って三巴遠く楼に登れば万里春なり

（唐詩選 慮侯詩 南楼望）

・行書なので軽快でやわらかなリズムを心掛ける。

・かなを漢字よりやや小さめに書き、漢字とかなの調和をはかる。

・二ヶ所の墨継ぎに注目する。

抱火志を

中学一年規定 【学毛】

虎井曉鐘先生書

人権の
基本

中学二・三年規定 【学毛】

杉山曉雲先生書

春待心

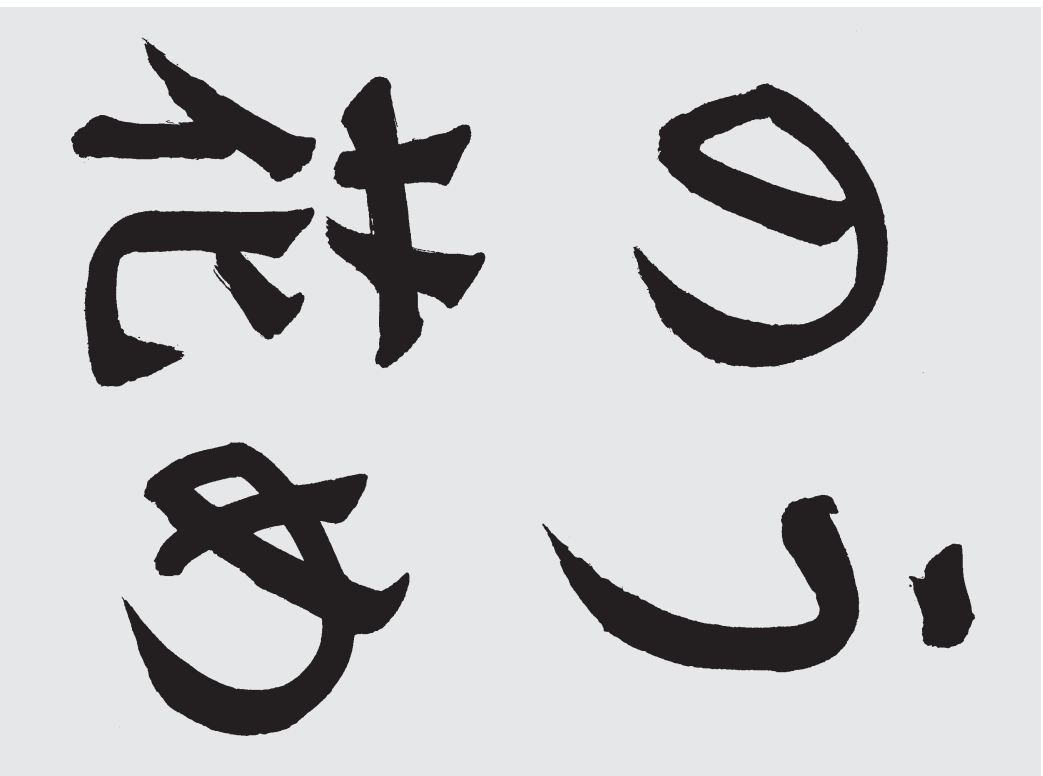
小学五年規定 【学毛】

宮本耕成先生書

記創心

小学六年規定 【学毛】

山口啓山先生書



小学三年規定 【学毛】

大澤梢光先生書



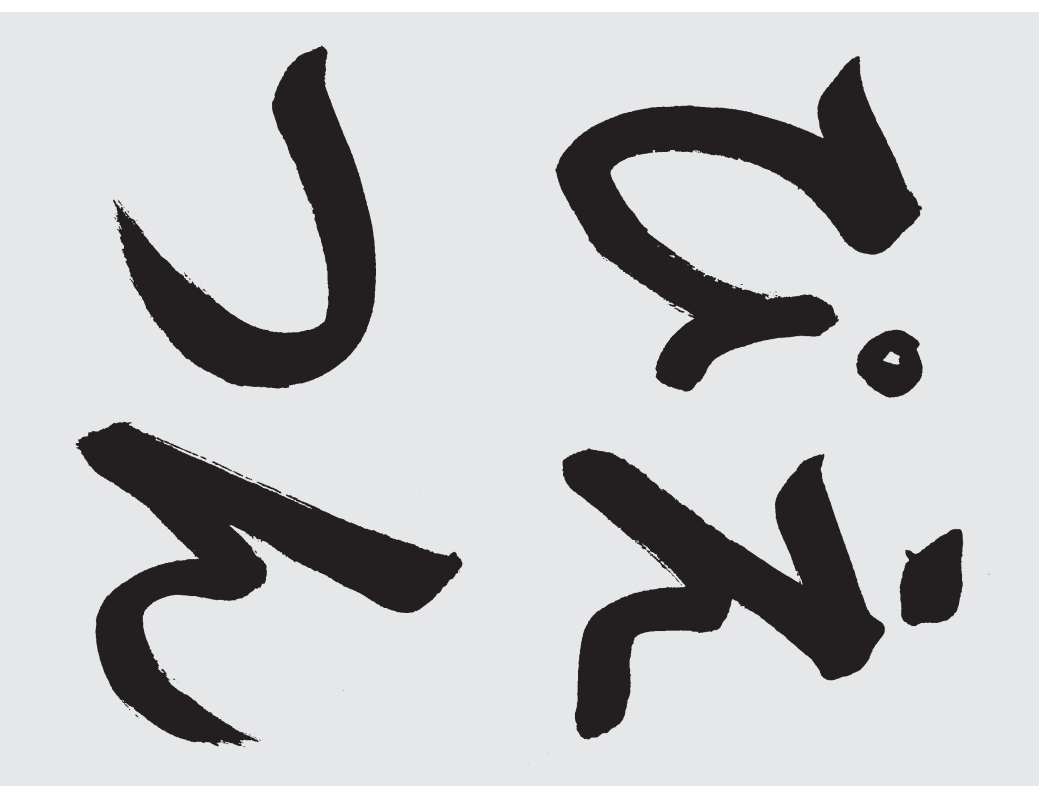
小学四年規定 【学毛】

石丸曉風先生書



小学一年規定 【学毛】

藤森大節先生書



小学二年規定 【学毛】

大島皎山先生書

硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範・段位)

上條 信山 先生 書

滝廉太郎、山田耕作、信時潔といった三人の作曲家は(八)西洋の(能)手法で日本人の心情を歌い上げている。(耕)字が正しいですが「作」と書くこともあります。

滝廉太郎、山田耕作、信時潔と
うたえ人の作曲家の西洋の手法で

日本人の心情を歌い上げよう。

一般規定【一硬】(級位)

二瓶 嶽風 先生 書

今や便利だけを求める時代は
終わった。謙虚に、つましく生
きる大切さを知るべきだ。

中学規定【学硬】

藤岡 月華 先生 書

筆のもち方は、指先でしっかりとつ
まむようにし、手のひらの中は丸
みを持たせましょう。

小・中学生随意課題【学随】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。
出品券を貼付して下さい。

小 一・二年 学	音	小 三・四年 学	楽
小 五・六年 学	野原	中 学	尊敬

手本解説

・基本 「草・通・総・右」は左図参照。

草 通 総 右

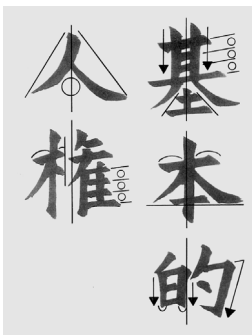
・硬筆一般規定(師範・準師範・段位) 「廉」「潔」「西洋」「心情を」は左図参照。

廉 潔 西洋 心情を

・条幅随意 「遠」「楼」「登」「春」は左図参照。

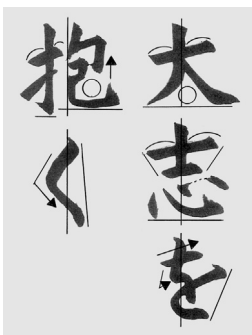
遠 楼 登 春

学生部規定



中学二・三年

「基」は横画を等間隔にし、払いを最大幅にする。「本」の最終画は下げ過ぎない。「的」は縦画の角度に注意。「人」は三角形の概形を意識する。「権」の「一」画目は右上がりに、偏の右端を描える。



中学一年

「大」の二画目は横画を二等分する。「志」の横画は二画目を長く、「心」は扁平に。「を」の二画目は右上がりに。三画目の始・終筆の位置に注意。「抱」は旁をやや横広に。「く」は縦長を意識。

主題とは、物語などの中で
作者が読者に一番伝えたか
った内容です。

名前 支部 年 級段

ふじ山の雪が朝日にて
らされて赤くキラキラ
光っています。

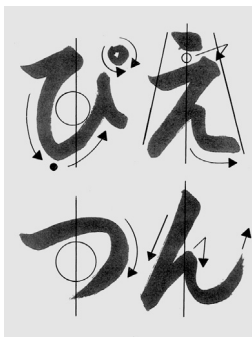
名前 支部 年 級段

ま	か	じ
し	ん	ぶ
よ	字	ん
う	で	の
	か	名
なまえ	いて	まえ
支部 年	み	を
きゅう		

※出品券を貼付
して下さい。

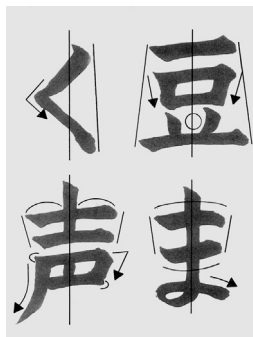
一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用の
こと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。
作品の大きさ↓たて18 cmよこ7 cm 小一・二課題↓2.1 cmのマス目
の紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1 cm巾の罫線を引く。

「え」の二画目は中心から書き始める。
「ん」の最初の折れは深く返す。「び」の
始筆は右上がり（○）は一回に書き分
けて良い。「つ」は円味をつける。



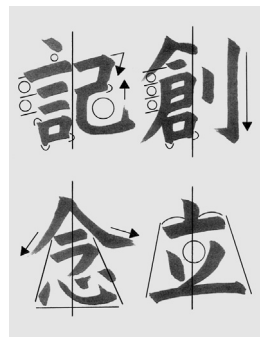
小学二年

「豆」の縦画は内側に、最終画を長くし
てバランスをとる。「ま」の横画の長さ、
角度に気をつける。「く」の終筆の位置
は始筆よりも右側に。「声」は一画目を
長く、左払いの角度、長さに注意。



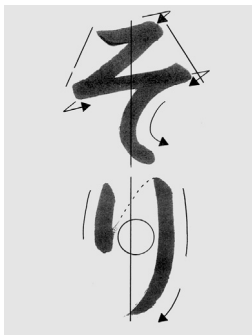
小学四年

「創」は左払いの角度に注意。隣の縦画
は垂直に。「立」は三、四画目は内側に
向ける。「記」の横画の長短、間隔に気
をつける。「念」の偏旁の組み合わせにも注意。
「念」は中心を意識して書きたい。



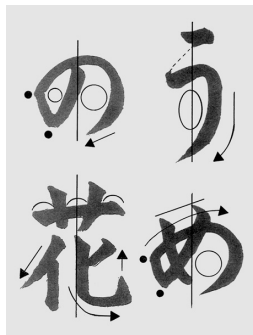
小学六年

「そ」は書き出しの横画は短く、中央を
長くする。深く折返して、反りの角度に
注意する。「り」は向かい合う線の角度
を意識し、払いは中心あたりで終わる。



小学一年

「う」は筆脈を意識し、二画目は立て気
味にする。「め」は、二画目の始筆の
位置に注意し、大回りの線は右上がり
にふくらむ。「の」は内部の余白の広さを
参考に。「花」は草冠の大きさに注意。



小学三年

「春」は払いを最大幅に、右払いの始筆
の位置に注意する。「待」は一、二画目
の長さ、角度を意識する。旁を縦長に。
「つ」は中心あたりで払う。「心」の二、
四画目は筆脈を意識してリズム良く。



小学五年

古典研究シリーズ ④16 【古典】

かんとうしやうきやうじよ

雁塔聖教序 唐六五三年

ちよすいりやう
褚遂良 (五九六〜六五八年)

書き方

- ① 文字数を間違えないで出品して下さい。
- ② 続き文字でなくても構いません。
- ③ 落款を入れて下さい。
- ④ 作品の表左下に、支部名と氏名又は号を鉛筆で記入して下さい。更に制作意図も書いて下さい。
- ⑤ 古典研究の出品券を貼付して下さい。

(編集部)

今月のテーマ

表現的臨書 (A)

中字 (四字〜六字)

線に主観を加える

〈ねらい〉 自己の要求に応ずる線を、古典の形を借りて自在に表現する。

〈学習①〉 課題の古典の中から四〜六字を選び、写實的臨書をして、その形をしっかりと覚えておく。そしてその形を用いて、次のような作者の芸術的意志 (表現意志) を次々に加えて、様々な線表現を試みる。

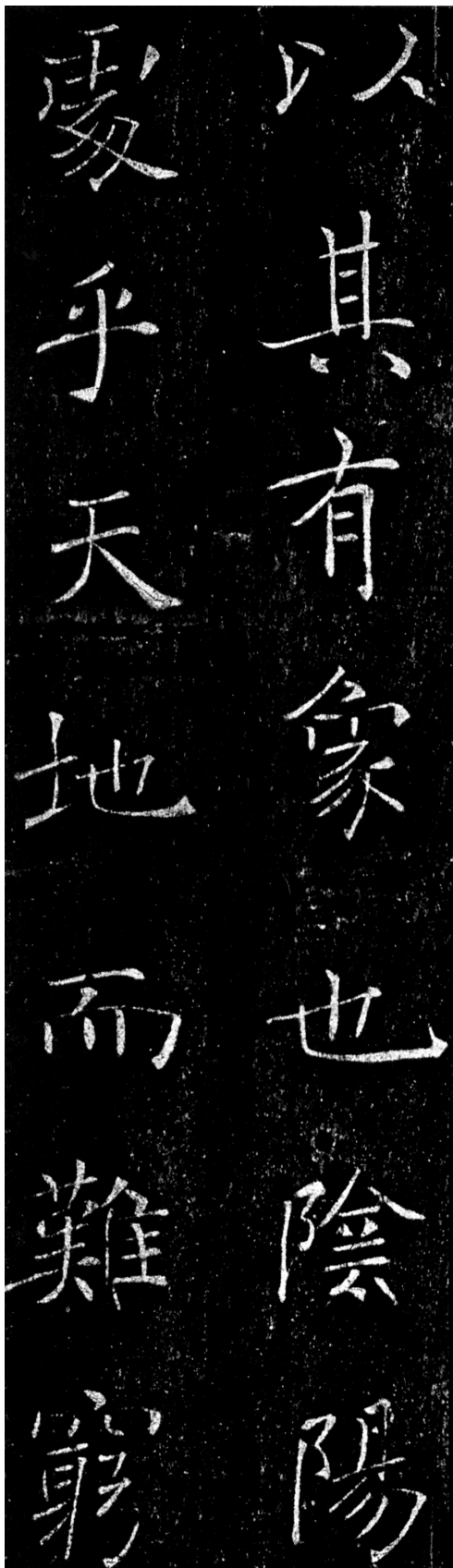
① 運筆に変化を与える…… ㊦ 筆圧を変化させる ① 遅速、緩急をつける ㊧ 細太、強弱をつける

② 筆の種類を変える…… 細太、長短、剛柔、竹筆、鶏毛筆、その他自己創案の筆などを使ってみる

③ 墨色をさまざまに工夫する…… 濃墨、淡墨、にじみ、かすれ等を効果的に用いる

④ いろいろな用紙を用いる

〈学習②〉 右の要素をいろいろとりまぜて、全く独自の新しい線表現を試みる。



〈釈文〉 以其有象也。陰陽處乎天地。而難窮

松本市美術館便り

上條信山記念展示室 平成三十年一月十日(水)～五月十三日(日)
「直球勝負の書」

野球選手のピッチングと書家の筆使いとは、相互に通じるものがあります。直球や変化球は、直線的、曲線的な線。速球やスローボールは運筆の緩急や筆圧の強弱。球の握り方や投げ方の違いは、筆の持ち方や筆法の違い、など。心と体がひとつとなり、理想の投球(運筆)でバッターを三振にうちとけること(作品)ができた時の爽快感は、投手も書家も同じでしょう。

長野師範学校(現信州大学)に在学していた頃、野球部のエースとしても活躍した上條信山先生。その書風を投球にたとえるならば「直球勝負の豪腕投手」と言えるでしょう。直線的な強さを基調とし、瞬発力と重厚さを兼ね備えた信山書風の真髄をご堪能ください。

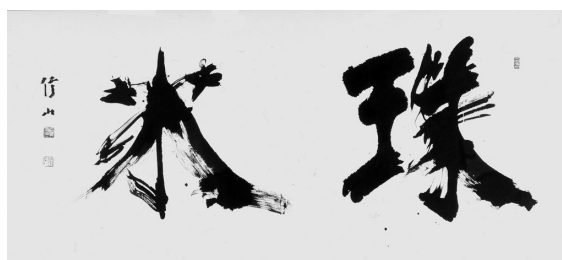
上條信山記念展示室展示作品

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	主要展覧会
1	慈眼童心		55.8×34.4	
2	守敬		71.2×34.5	
3	求深	昭和44年(1969)	67.9×105.3	第8回書象展
4	大道無門		69.5×69.7	
5	不動心		72.7×34.3	
6	波涛	昭和61年(1986)	136.2×68.8	
7	大形	平成8年(1996)頃	136.0×69.6	第59回謙慎展
8	竹柏勁心	平成6年(1994)	184.0×68.5	改組第26回日展
9	口天祐	昭和47年(1972)	119.8×68.1	第34回謙慎展
10	雲開	昭和59年(1984)	137.5×67.5	第28回朝日二十人展
11	鎮魂碑(拓本)	昭和58年(1983)	197.4×89.0	
12	直如弦	昭和46年(1971)	134.0×64.5	第33回謙慎展
13	珠氷	平成7年(1995)	62.0×136.2	第57回謙慎展
14	和神	昭和51年(1976)	104.5×59.0	日展評議員展
15	従心		34.3×67.5	
16	深蔵若虚		167.8×40.8	
17	七言二句		131.3×33.5	朝日二十人展
18	地花人愛	昭和61年(1986)	68.0×63.8	巨匠展
19	松柏見貞心		138.5×33.0	
20	朱熹詩一節	昭和43年(1968)	137.7×34.4	還暦個展

※11《鎮魂碑(拓本)》の制作年は、石碑の建立年



鎮魂碑(拓本)



珠氷



求深



朱熹詩一節

平成二十九年秋季師範特待生昇格試験合格者

[illegible]

特待生

小・中学生準八段に達した者は「特待生試験」合格により八段特待生となる。「8級下」から始め、四十二階級を登りつめた榮譽を讃え、賞状ならびに副賞として墨と楯（左写真）を贈るものである。

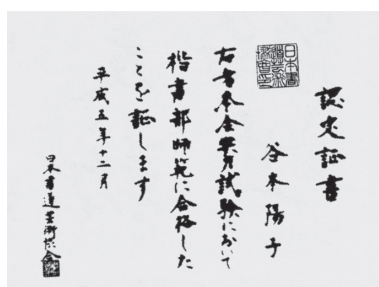
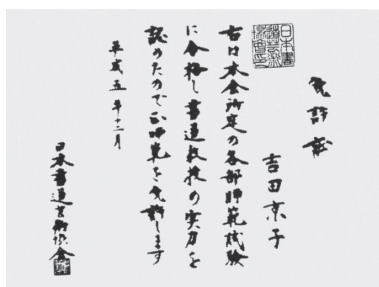


認定証の申込みについて

師範昇格試験において、正師範・師範・準師範に合格し、その認定証を希望される方は、該当各書体の合格年月を記入した申し込み書に費用を添えて書象会本部庶務部までお送り下さい。

尚、お申し込みただいてから認定証の発送までに、若干時間のかかることがあります。ご了承下さい。

- 正師範 五体 五〇、〇〇〇円
- 師範 一体に付 五、〇〇〇円
- 準師範 一体に付 四、〇〇〇円



看板の頒布のお知らせ

書塾用に看板を用意しております。ご希望の方は左記の要領でお申込み下さい。

◎資格条件

書象誌において、一体でも師範に合格した方。

◎申請料

三万円（送料・税込み）

◎材質・寸法

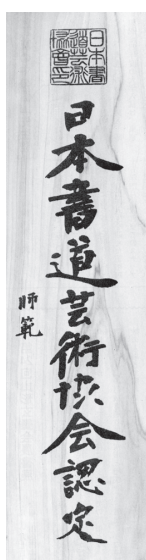
- 檜無垢 A タテ六〇cm×ヨコ一五cm×厚さ二cm
- B タテ四五cm×ヨコ一三cm×厚さ二cm
- ※A・B共に貼り囷入り

◎申請方法

師範合格書体・年月と御希望の寸法A・Bのどちらかを記入して、申請料と共に書象会庶務部まで、現金封筒でお申し込み下さい。

◎お問い合わせ・申請先

☎ 180-0001 武蔵野市吉祥寺北町四一三一六
書象会 庶務部
☎・FAX 〇四三二一五三一九七四三



昇段級試験特集

平成二十九年年度秋季昇段級試験の合格作品の秀作と審査評を掲載いたします。合格率は、師範74%（受験者一〇四名）、準師範66%（同二九〇名）、特待生57%（同二四八名）でした。

今回の師範、準師範試験の傾向についてお知らせします。漢字では、行書作品において、文字の大小を含めたバランス良い作品が多く見受けられました。一方、仮名では課題の難易度が高かったのか、連綿が曖昧なもの、さらには完全な誤字を書いている作品がありました。また、漢字条幅においても、逆筆での起筆後にしっかりと腕を大きく動かして運筆することが課題のように感じられました。

特待生試験では、筆の遣い方や全体感の良い作品が多くあり、特に中学一・二年生の頑張りに目を見張るものがあったことは嬉しいことでした。

紹介作品は特に優れ、他の範となるものです。筆遣いや全体感など、今後の学書に生かしてください。

（編集部）

師範 玄黙 影山 浜名



直線的な横画、鋭く引き締まった用筆、整った字形は化度寺碑の特徴をよく捉えており、凛とした書風である。

師範 尾崎由美子



引き締まった清冽な線は見事である。形もよく、正確な腕法が歯切れのよい若々しい作品を作り出している。

師範 土筆 敏野 姚光



化度寺碑の原帖に近づけようとする努力の跡を見ることができ、一点一画のゆるぎない筆の動きが見事である。

準師範 麗墨 折笠 琴羽



墨を多めに含ませ、一気に筆を運んでい。しつとりとした中に気持ちよく引き締まり、心地良い緊張感が漂う。

準師範 笠原 中原 宏恵



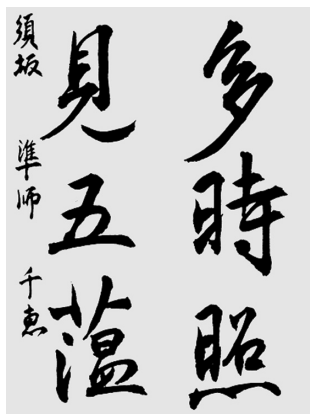
やや小振りに収めて文字群の流れも良い。形・線質ともに申し分なく錬成の成果が光る。余白も生き、明るい作。

師範 瀬戸 上杉みゆき



よく筆が動いて躍動感がある。形の良さと共に線が滑らかで清冽な作品に仕上がった秀作である。

師範 須坂 白木 千恵



伸びやかな線が何より魅力的である。造形も懐の広さがあり、明るく爽やかな作品に仕上がった。

師範 平成 栗原 智子



全体バランスが抜群。よく伸びた線は強く切れ味が良い。日頃の成果が遺憾なく発揮された作品である。

準師範 相模 松本 正恵



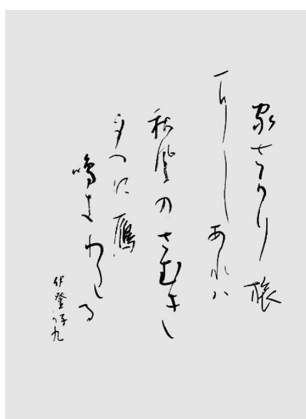
形・余白・全体感ともに美しい。線は強さの中に温かさを感じられ、真面目な学習態度がうかがわれる秀作である。

準師範 一絵 麻生 礼子



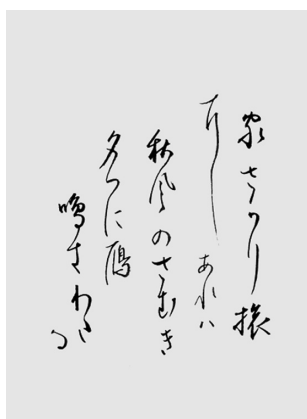
ダイナミックな書きぶりと弾力のある強靱な線が魅力的で、形もしっかりしている。今後が楽しみな作品である。

師範 巍山 峯村伊登子



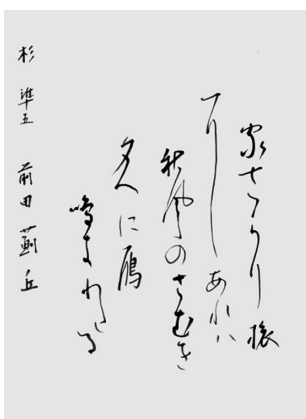
散らし書きの構成が光る秀作。線質・字形共に洗練されており、緩急をつけた運筆で流れが感じられる。

師範 六会 平井ふじ枝



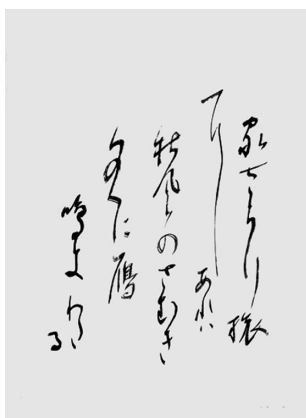
確かな執筆法・運筆法で書かれている。線はしなやかで力強く、連綿が自然に表現されている。

準師範 杉 前田 薊丘



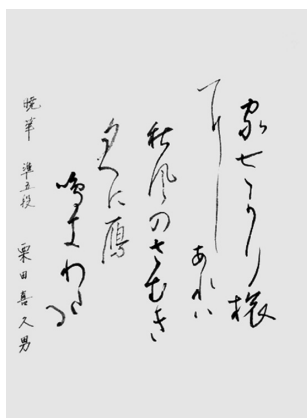
形を忠実に捉えようと努めた力作。行間の広狭、各行の構成も手本の意を掴んでいる。墨の濃度に改善の余地あり。

準師範 若竹 小池 黎節



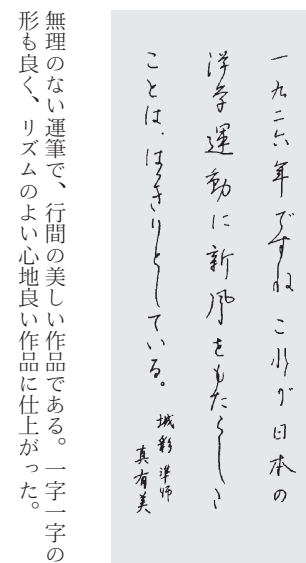
直線的で切れ味のよい作品。運筆にリズムがあり、軽快に仕上がった。墨の潤も工夫されている。

準師範 曉華 栗田喜久男



丁寧な筆遣いと穏やかな線質が印象的。字形に対する感覚にも優れている。運筆に緩急が備われば更に良い。

師範 城彩 平田真有美



準師範 伊奈 黒田菜々子

一九二六年、すなわちこの頃、日本の
海軍運動に新風をもちこ
ことは、けうきりしている。
伊奈 五段 黒田 菜々子

行の中心が通り、力強く縦に流れる貫通力がある。また、
素直な線で運筆されており、全体感も見事である。

特待生 北府 安村 春撫

収穫したばかりの新鮮な野
菜が、朝の食卓に並んでいる。
食欲をそそる。
北府 中一準八段
安村 春撫

正確な基本点画と運筆で見事な作品に仕上がった。字形も
良く、伸びやかさを兼ね備えた秀作である。

特待生 硯 館澤 舞

収穫したばかりの新鮮な野
菜が、朝の食卓に並んでいる。
食欲をそそる。
硯 支部 中三準八
館澤 舞

漢字とひらがなが見事に調和しており、字形の正確さ、伸
びやかな運筆など申し分のない秀作である。

特待生 凜心 大森 祐奈

収穫したばかりの新鮮な野
菜が、朝の食卓に並んでいる。
食欲をそそる。
凜心 中三準八段
大森 祐奈

練習の成果が存分に発揮された基本に忠実な作品。細部に
まで気をつかった美しい作品に好感が持てる。

特待生 中央 奥山ななみ

責任を
持つ
中央 中一準八 奥山ななみ

全体構成が
良く、起筆
や収筆など
の細部にま
で神経が行
き届いた秀
作。名前の
書き方も素
晴らしい。

特待生 皓花 中村 莉子

博愛の
精神
中二 進八段
中村 莉子

一点一画が
大変丁寧な
作品。力強
い線質で伸
びやかさも
あり、鏤度
の高い作品
に仕上がっ

特待生 秀雪 門間 翔太

博愛の
精神
中三 翔太

正しい筆遣
いで素直な
線が印象的
な作品。文
字の構造も
広く、大変
好感の持て
る作品とな
った。

特待生 高社 小坂 早希

博愛の
精神
中二 小坂 早希

基本に忠実
で真面目な
学習態度が
伝わってくる
作品。丁寧
な筆遣いで、
文字構造の
広い作品とな
った。

特待生 硯 扇 佐藤 真人

博愛の
精神
中三準八 硯 扇
佐藤 真人

伸びやかで
切れのある
線が素晴らしい。
一字の形を
含め全体感
も良く、鏤
度の高い秀
作である。

師範

小川 右田 流溪

師範

書集 須藤 谿芳



腕がよく動いて伸びやかで、骨力もある。懐の広さがあれば、さらに奥行きある作品が期待できる。

師範

玄樸 中沢 嶺花



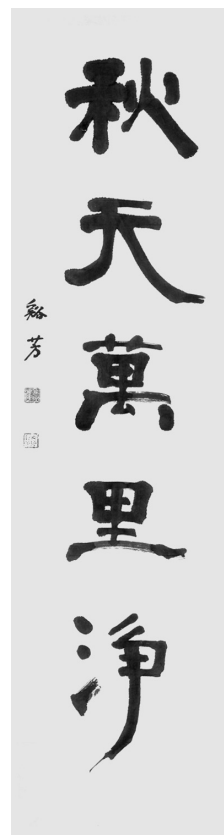
墨色が美しく、リズムよく書くことができた。無理な力が入らず、穏やかで潤いのある作品に仕上がった。

準師範

有象 武原 幽節



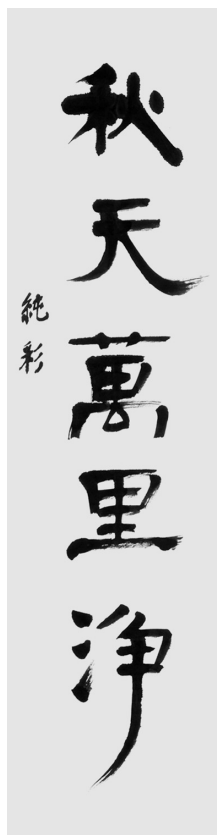
気合充実、重厚かつ軽快な運筆である。一字一字が骨太で気迫が漲り、貫通力のある秀作。



淡墨ながら骨格がしっかりしているので、強さと伸びがある。隷書の基本に忠実で、余白も美しい。

師範

青雲 武田 純彩



確かな書きぶりで、スケールの大きな作品である。構造の広さが明るさと伸びやかさを際立たせている。

準師範

飯田 安田 完碩



やや細めだが、切れ味の良い線質とリズムミカルな運筆が躍動感を生み出している。

書象会通信条幅研究会 平成二十九年年度受賞者

◎最優秀賞

佐藤 茜沙

嶋埜 壺玉

◎皆勤賞

秋葉 景華

寺澤 春清

◎優秀賞

今井 春海

関口 越山

市村 桜峯

長江 喜春

岩月 彩紅

高橋 壺登

稲葉 京春

西垣 光風

垣内 孝仙

高橋 天翠

今井 華遥

西川久美子

小谷 照春

竹野 翠紗

岩成 碧舟

根岸 鈴華

野口 虹汀

田村 霽苑

岩橋 祥風

長谷川竹心

横田 四葉

塚原 花瑤

宇野 壺裕

初津 壺博

◎努力賞

青柳 緑水

永田 智翠

加藤 征光

松尾 詠舟

飯田 天澄

名久井光扇

上條 窓苑

真殿 和子

伊藤 西光

平野 壺桜

河田 邦楓

御子柴英遠

井上 雅幸

福井 照雲

小林 真志

村山 麗恵

井上比富美

藤井 静素

小林 天苑

森島 美光

上島 壺霄

藤澤 竹虹

齊藤 泰城

山口 智真

内海 洋楓

堀之上峯山

坂本 暁玄

山下 勇

遠藤 翠雅

牧 恵風

塩谷 翠桐

山下 桂耀

加藤 穆舟

増田ツル子

島 谿暉

山下 春波

上條 泉山

三浦 径石

周藤 文界

横井 萌玉

川田 鹿山

三沢 泰仙

白川 友梅

横川 景城

北村 照節

宮崎 京楓

高杉 優実

吉原 明恵

倉谷 聴月

宮原 紅玉

高橋 白羊

渡辺 恵美

斎藤 汀霄

三和 玉蘊

多田 照柏

特別賞

斎藤 美楓

柳澤 雪葉

田中 満珠

本年度最高得点者

坂井 蒼峯

山崎 憬泉

辻岡 啓子

井上 雅幸

坂田 良楓

山崎 惜春

土屋 寶春

最高得点者

佐々木永翠

山本 草心

都竹 仙華

井上 雅幸

島田 壺峰

湯本 香窓

坪田 泰舟

井上 雅幸

※努力賞以上の方、特別表彰の方の表彰は書象会総会・新年会(一月二十八日十二時より)の席上で行われます。受賞者の方はご出席下さい。

賞の内規

・最優秀賞Ⅱ一人一回限り、以後最優秀賞、優秀賞の受賞資格はなくなる。

・優秀賞Ⅱ一人二回までとする。但し一回の方は、最優秀賞の受賞資格を有する。

・最優秀賞、優秀賞、努力賞は、年間皆勤であることが、条件である。

・最優秀賞、優秀賞、努力賞には賞状並びにトロフィー又は副賞が与えられる。

平成三十年 書象会講習会実施計画

平成三十年の講習会・錬成会・講演会は、次のとおりです。ふるってご参加ください。

二月十八日(日)

実技講習会 第五十七回書象展の作品をつくろう

講師 内藤望山先生

会場 武蔵野スイングホール

四月開催予定

かな会講習会

講師 内藤望山先生

会場 未定

六月十七日(日)

学生展との連携や講習会など

講師 未定

会場 国立新美術館

六月十七日(日)

支部長講習会

講師 未定

会場 国立新美術館

六月二十日(水)

実技講習会 信山流の書法 基本・半紙編

講師 未定

会場 国立新美術館

八月五日(日)・六日(月)

夏季錬成会

会場 群馬県草津温泉 ホテル櫻井

十一月上旬

実技講習会 信山流の書法 半切・条幅編

講師 未定

会場 未定

午後一時〜午後四時

午後一時〜午後四時

「信山流地方講習会」「支部強化錬成会」など、地区や支部長、会員の皆様のご要望に添えるべく努めますので、係までご相談ください。いますようお問い合わせいたします。「信山流地方講習会」「支部強化錬成会」の申込書式は本部迄お問い合わせください。なお右記日程会場は変更する場合がございます。

また、各研修会の詳細については、書象誌、ホームページ、支部長宛文書等でもお知らせする予定です。お問い合わせは本部事務局までお願いします。

研修部

謙慎の書④ 上條信山の門流
書象会選抜展(そのⅡ)

会期 平成29年10月7日(土)～平成30年1月14日(日)
会場 奈良市杉岡華邨書道美術館

南洲詩

杉山 曉雲



曹子建句

山口 啓山



陶淵明詩

樋口 玄山



文心雕龍句 封禪第二十一贊

柳澤 玄嶽



平成29年度 実技講習会

「張猛龍碑研究と実習」

期 日 十一月二十三日（木・祝）
会 場 武蔵野公会堂

午前中の冷たい雨が晴天へと変わり、心も晴れやかに武蔵野公会堂の会場へと向かいました。

始まりのご挨拶に続き、早速一部がスタートしました。まずは田中先生のご講義からです。張猛龍碑が出来た理由や信山先生が師生碑を建立された場所等、中国の地図を資料にご説明くださり、まるでタイムスリップしたかのようでした。山口先生からは「信山先生の書の系譜」についてお話をうかがうことが出来ました。張廉卿は書を通じて自分の人格形成をし、宮島詠士先生は高い人間性、精神の書を伝承した。更に信山先生は技

術の独自性と深い現代思想により、高い格調の書を表現されたのだとお話しされました。二部は実技の講習でした。張猛龍碑の臨書は難しく、限られた時間内に納得いくものは書けませんでした。温かいご指導の下、これを初めの一步として張猛龍碑、さらには信山バリの理解を深めたいと心新たにしました。

このような機会を与えて
くださり感謝申し上げます。

（川島映雪記）



緊張した雰囲気の中で開会



山口先生の熱のこもった実技指導



田中先生のわかりやすい解説



熱心に錬成する参加者のみなさん

秋の美術館見学

「書の流儀Ⅱ」美の継承と創意」の鑑賞

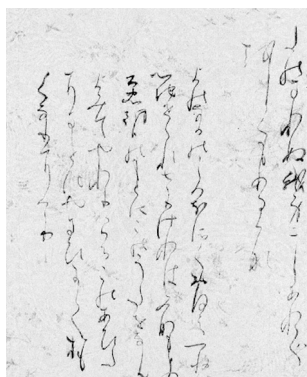
見る眼を養いたい、と痛感する私にとっては沢山のヒントを得た一日でした。学芸員の笠嶋忠幸先生曰く、キャプションを読むのに一分、作品鑑賞は三十秒という見方はとても残念である、との言葉にまずははっとし、反省から。さらに「見方」、

「捉え方」、「考え方」をキーワードに講義は進みます。先人の書を伝える難しさゆえに伝わるゆがみ。手本、教本に基づきつつ個性を出すことの意味と、我流との違い。造形観に理解が深まればこそ、巧くなくても素敵だね、とか形を見て好きか嫌いか、そしてこの字にあやかりたいという気持ちも芽生えます。

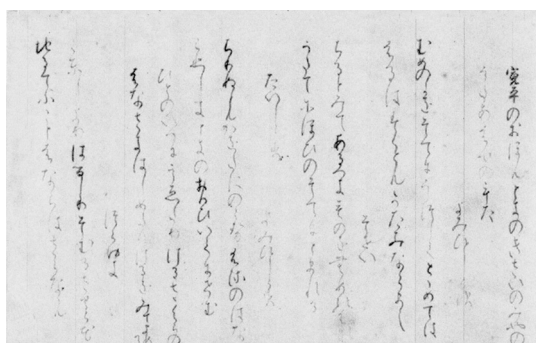
あやかりたい、と幾度も沢山感じ、願いながら『書の流儀Ⅱ』



石山切 藤原定信筆



伊勢物語 若草図色紙



高野切第一種 伝紀貫之



刺激とヒントに溢れた笠嶋先生のお話

期 日 十二月九日(土)
会 場 出光美術館

の鑑賞を終えた秋の明るい一日でした。貴重な体験と学習の機会を与えて下さいました研修部のご尽力と学芸員笠嶋忠幸先生に、心より感謝いたします。

大いに刺激を受け、著書も購入し夢中になっています。

(高杉優実記)

第四十二回玄墨展

期 日 十一月二十四日(金)～二十六日(日)
会 場 山形県芸文美術館
主 宰 結城正憲先生

今年も玄墨展を開催しました。会員全員で五十点の作品の飾り付けを行い、その後記念撮影をしました。市澤静山理事長に特別出品をお願いし、展覧会に華を添えていただきました。会員も日頃の練習の成果を発揮し、渾身の一作を発表することができました。会期中には、約四百名の来場者においでいただきました。「作品から伝わる息遣いやエネルギーに、ただただ圧倒されました。」という感想をいただきました。また、「調和体は読めるが、漢詩はわからない。」という質問には、結城会長が「音楽や踊りのバレエなどと同じで：」と書以外のものに置き換えてわかりやすく説明され、漢詩はわからなかった。益々興味を持たれた様子で鑑賞していただきました。



飾り付け後に記念撮影

同じ質問を受けても答えられなかった私にとっても、大変に勉強になる時間でした。

土曜日の閉展前に、先生の高校教員時代の教え子という方が来場されました。現在は県立高校の校長先生をされているそうで、三十五年ぶりの再会を祝して、その後お二人でお出かけになりました。きっと楽しい一時を過ごされたことでしょう。

(庄司朴山記)

第四回静心会書展

期 日 十二月五日(火)～十日(日)
会 場 銀座大黒屋ギャラリー六階
主 宰 坂牛静心先生

「第四回静心会書展」が、坂牛静心先生と会員二十一名の参加で開催されました。

信山流の楷書、行書、隸書、篆書、仮名、調和体作品、臨書作品、写経や多字数の半切作品、和漢朗詠集などの力作を展示しました。書歴ウン十年のベテランから筆を持って二ヶ月のドイツからの留学生まで和氣藹々とした楽しい会となりました。留学生は、自ら漢詩を選び行書に挑戦しました。

特別出陳の上條信山先生の気品溢れる「自香」、賛助出品をいただいた市澤静山先生の「養鋭」は、落ち着きの中から力強さを放ち、会場を引き締めて下さいました。静心先生は野沢凡兆の句、古筆五種の



坂牛先生を囲んで

和歌の衝立、漢詩と貫之の歌の条幅作品、宮島詠士先生の臨書の五作品を発表されました。会期中、先生方の素晴らしい書を鑑賞でき、幸せに感じた六日間でした。お忙しい中、多くの先生方にご来場いただき、沢山のアドバイスを励ましの言葉を頂戴しました。五百名を超えるお客様にお越しいただき、心より感謝申し上げます。

展示をお手伝い下さった湯山春峰堂様にも感謝申し上げます。

(煙山妙子記)

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

特待合格！



有穂支部 中二
北島 佳奈

小学一年生のときから書道を始め約八年。硬筆を一回で合格でき、とても嬉しかったです。次は毛筆。毛筆も合格し、二冠達成頑張ります。これからもご指導、よろしく願います。

支部長先生より一言 スイミングやサッカーで川崎病を克服し、すっかり元気になった佳奈さん。これから楽しみます。

一意専心



須坂支部 中三
松本 那奈子

私は二度目の硬筆特待生の挑戦で、二冠を達成することができました。先生の温かいご指導と家族の励ましのおかげです。ありがとうございます。今後一意専心に取り組んでいきたいと思えます。

支部長先生より一言 過密な中学生生活を送りつつの二冠達成は本人の努力と意思の賜物です。更に進路達成に向けてがんばろう!!

努力



名東支部 中二
高須 亮太

僕は小学二年生から習字を習っていて、特待生になることができ、とても嬉しいです。ここまでこれたのは、先生の分かりやすい指導のお陰です。毛筆だけでなく、次は硬筆でも特待生になれる様に努力していきます。

支部長先生より一言 ピアノやサッカーで活躍の亮太君、特待生おめでとう。休まず毎回真剣十特別教室で実力がつきました。

感謝



千曲支部 中二
金子 実有美

私は小学一年生から書道を始め、目標であった特待生になれてとても嬉しいです。目標達成できたのは、分かりやすく指導して下さった先生、支えてくれた家族のおかげです。次は硬筆を頑張りたいです。

支部長先生より一言 いつもゆったり筆を構え、落ち着いた姿で書の練習に取り組んでいます。次は硬筆だね。ガンバレ!!

特待生になって



有象支部 中三
有泉 俊希

小一から始めた書道、自分は休む事も多くて先生には迷惑ばかりかけていました。それでもここまで上達させてくれた先生には感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、特待生らしい字になれる様に頑張りたいです。

支部長先生より一言 特待生おめでとうノ野球チームに所属している中、時間を作り集中して書きます。「継続は力なり」ですね。

憧れの特待生



中野支部 中三
田中 真奈美

私は、小学二年生の秋から書道を始め、ずっと憧れていた特待生になることができました。お世話になった先生や家族、友達などたくさんの人に感謝の気持ちを伝えたいです。大好きな書道をこれからもがんばります。

支部長先生より一言 眞奈ちゃんおめでとう。一生懸命書道にうち込む姿は立派です。これからも上をめざし頑張りますよう。

二冠達成を目指して



湊支部 中二
樋口 貴乙

習字を始めたのは、小学一年生の時です。八年目できるよう特待生になることができました。部活で習字教室に通えなかった時も指導して下さった先生に感謝して、二冠達成を目指していきます。

支部長先生より一言 部活で教室を休んでも家で書く努力の成果です。特待生合格おめでとう。次は硬筆がんばろう。

目標達成



名東支部 中三
松村 美徳

中一の春に硬筆の特待生を取り、毛筆も合格できる様に目標を持ち、ついに達成する事ができました。一年間コツコツと頑張ってきた良かったと思えます。支えてくださった先生、家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

支部長先生より一言 熱田神宮書き初め大会の練習で実力アップして入選。そして特待生合格おめでとう。努力が実ったね。

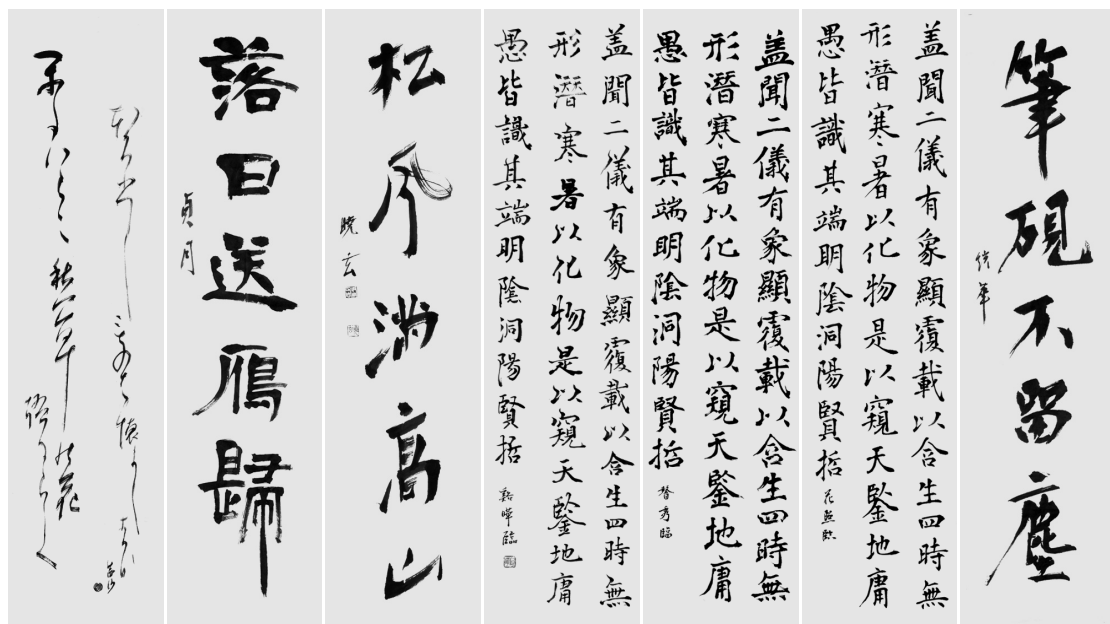
感謝の気持ち



高社支部 中二
青柳 佑奈

今回、毛筆で特待生になれてとてもうれしいです。今まで特待生になるまで頑張って指導して下さった先生に感謝の気持ちでいっぱいです。次は硬筆なので頑張って合格できるよう練習していきます。

支部長先生より一言 小さな時からお行儀良くきちんとお稽古できる人でした。今では皆の目標の人です。期待しています。



△漢字条幅▽ 評 寺尾 碩雲

光 扇 重厚で深みのある線質。

香 月 字形や字間も良い。

壺 桜 筆勢のある線。字形にも

穆 舟 好感もてる。

蒼 風 字間を上手くとり、余白

峰 雪 に響きがある。

霽 苑 確かな用筆法。率意さが

統 華 印象に残る作。

純 華 右上がりを抑え、穏やか

△条幅随意▽ 評 中村 巍山

花 照 細部にわたり神経の行き

馨 秀 届いた秀作。

谿 曄 やや大きい線に変化、

躍動がある。

△通信条幅▽ 評 樋口 玄山

坂本暁玄 歯切れのよい筆緻と力強

い骨格が見事。

小林貞月 この伸びやかさ、実に気

持良い。

佐藤茜沙 冴えた線で流れあり秀作。

皆空度 一切苦 師 壹北	皆空度 一切苦 弟子 山	窺天 貞松	長野新潟富山石川福井 徳島香川愛媛高知福岡 佐賀長崎熊本大分宮崎 鹿児島沖縄 産主 秋廣	和衆如 琵琶
皆空度 一切苦 文化 師 亜紀子	皆空度 一切苦 心和 師 湖亭	物是 静 静花	長野新潟富山石川福井 徳島香川愛媛高知福岡 佐賀長崎熊本大分宮崎 鹿児島沖縄 梓森 素州	和衆如 琵琶 天妙
皆空度 一切苦 柏芳 師 嵯峨成山	皆空度 一切苦 玄機 師 蒼風	是以 貞月	長野新潟富山石川福井 徳島香川愛媛高知福岡 佐賀長崎熊本大分宮崎 鹿児島沖縄 飯田 成苑	和衆如 琵琶
皆空度 一切苦 平成 師 範 雅子	皆空度 一切苦 杉 師 山 逸月	化物 規心	長野新潟富山石川福井 徳島香川愛媛高知福岡 佐賀長崎熊本大分宮崎 鹿児島沖縄 北府 法界	和衆如 琵琶 規心

基本課題

評 中村 巍山

白 葉 清澄な線でさわやかな明るい秀作。
天 妙 小ぶりに瀟洒にまとめた。波礫うまい。
南 花 大胆な書きぶりで紙面を圧倒する骨力。
硯 心 明るい作品で、まとめ方抜群。

研究課題

評 久保 妍山

岡本秋麗 全体感良くまとめられ、鋭い線で大佳。
市ノ瀬素州 伸びやかで動きがある線の秀作です。
下平成苑 太くシャープな線で書かれた作品。
小林凌翠 行意がよく出ている作。この調子で。

古典課題

評 高瀬 霞山

貞 松 穂先を上手に使い動きもあり全体感秀。
静 花 雁塔の温かみとねばりのある線表現佳。
貞 月 大きめではあるがリズムが有り秀作。
硯 心 二文字が程良い大きさに収まり安定。

師範部

△行書▽

評 柳澤 玄嶽

林田翠山 洗練された行書の風格と気力躍動共に佳。
森村湖亭 温順さの中に折目正しく豊潤さあり。
野口翠法 寛としながら切れ味のよい線で構造も広い。
片山邀月 細部まで神経が通って、強靱な骨格。
小野壺水 含墨豊かで、抑揚の変化に富む線表現。
山本亜紀子 淡々として素直な筆遣いに好感が持てる。
嵯峨我山 正確で安定した筆遣い。忠実な臨書態度。
小松雅子 弾力と渋味を持ち、正確な字形把握佳。



△仮名▽

評 宮本耕成

飯島蓉光 筆脈良く、手本に忠実な作。空間美も佳。
 塩谷翠桐 線が走り過ぎず、慎重且つ力強さがある。
 石原絢楓 落ち着いた用筆で、鍊度の高い作品。
 篠塚葉暁 鋒先を効かせ歯ぎれよく、正確な筆致佳。
 小澤通明 伸びやかで強い線、気力溢れ躍動感有り。
 長島正純 全体観よく、一字一字も正確にまとめた。
 石本梢陽 豊潤な線表現、懷抱性に満ちた構造佳。
 直井景光 軽快で素直な筆遣いが心地好い。余白佳。

島田壺峰 流れるような連綿で格調高い作品。
 塚原花瑠 軽快なタッチで、スピード感あり。
 泉澤木苑 のびやかで大胆な運筆が魅力的。
 森島美光 やや細めの線ではあるが形、全体感よし。
 中尾柚香 小ぶりながら連綿が自然で上品な作品。
 福島玲秀 伸びやかな線質ながら骨力もあり。
 青柳緑水 潤渾をうまく対比させ、まとめ方も上手。
 布施杠華 字形が良く、連綿の流れも安定している。
 豊田桂秀 大胆な運筆で、貫通力のある作品。
 佐藤江蕙 線質に遅速緩急があり、流れもよい。
 伊藤星紅 紙面を圧倒するような重厚な線は見事。
 小松雅子 手本に忠実で、渾筆が効果的。

上尾中二大角地麻璃香 故郷	小四 優心 花ん 花だ	小四 優心 人ゆ 形び	六年 花園脩奈 単刀 直入	中二 関野らら 生徒会 選挙
六年 小林優花 夕暮	二年 宿谷はやて 花ん 花だ	宮川三枝 明夏 人ゆ 形び	小六 山畑愛菜 単刀 直入	中二 鈴木そら 生徒会 選挙
小四 松澤里実 時	小一... れいこ よる	三年 渡辺大喜 いさむ 冬	五年 秋山 夜道 灯	中一 岩村芽依 南下す 船
小二 佐竹ゆりの 年	一ねん はやと よる	三年 龍澤 碧人 いさむ 冬	五年 菊地あられ 夜道 灯	中一 奥山ななみ 南下す 船

学生部

評 杉山 窓影

関野らら さすが高段者です。名前もうまい。
鈴木そら すっきりした線で、若さのある作品です。
岩村芽依 漢字と平仮名の調和のとれた作。大佳。
奥山ななみ 特待生の作品です。この調子で継続を。
花園脩奈 むずかしい課題です。体裁よくまとめた。
山畑愛菜 太めの線で、丁寧にしっかり書きました。
秋山華蓮 一文字一文字がうまい。名前も工夫して。
菊地あられ 真剣に書きました。名前も上手です。
島村優心 一点一画正確に書きました。線もきれい。
岩佐明夏 大きくのびのびとした形です。上手です。
渡辺大喜 ひらがなの形特により。線も強い。
瀧澤碧人 まじめに書きました。「冬」すばらしい。
中川璃音 一字一字大きく、ていねいに書きました。
宿谷はやて しっかりした線で、たいへんよくできた。
福田麗子 じょうずですね。よい形をしています。
北村颯士 げんきよく男らしいもじです。

半紙随意

評 恩田 静月

麻璃香 行書で豊かな線で堂々と書けています。
小林優花 二文字の調和がみごとです。うまい。
松澤里実 ていねいに力をぬかないで書きました。
ゆりの 正しいふでづかいです。名前も上手です。

このページに掲載された人には書家会より記念の筆をさし上げます。

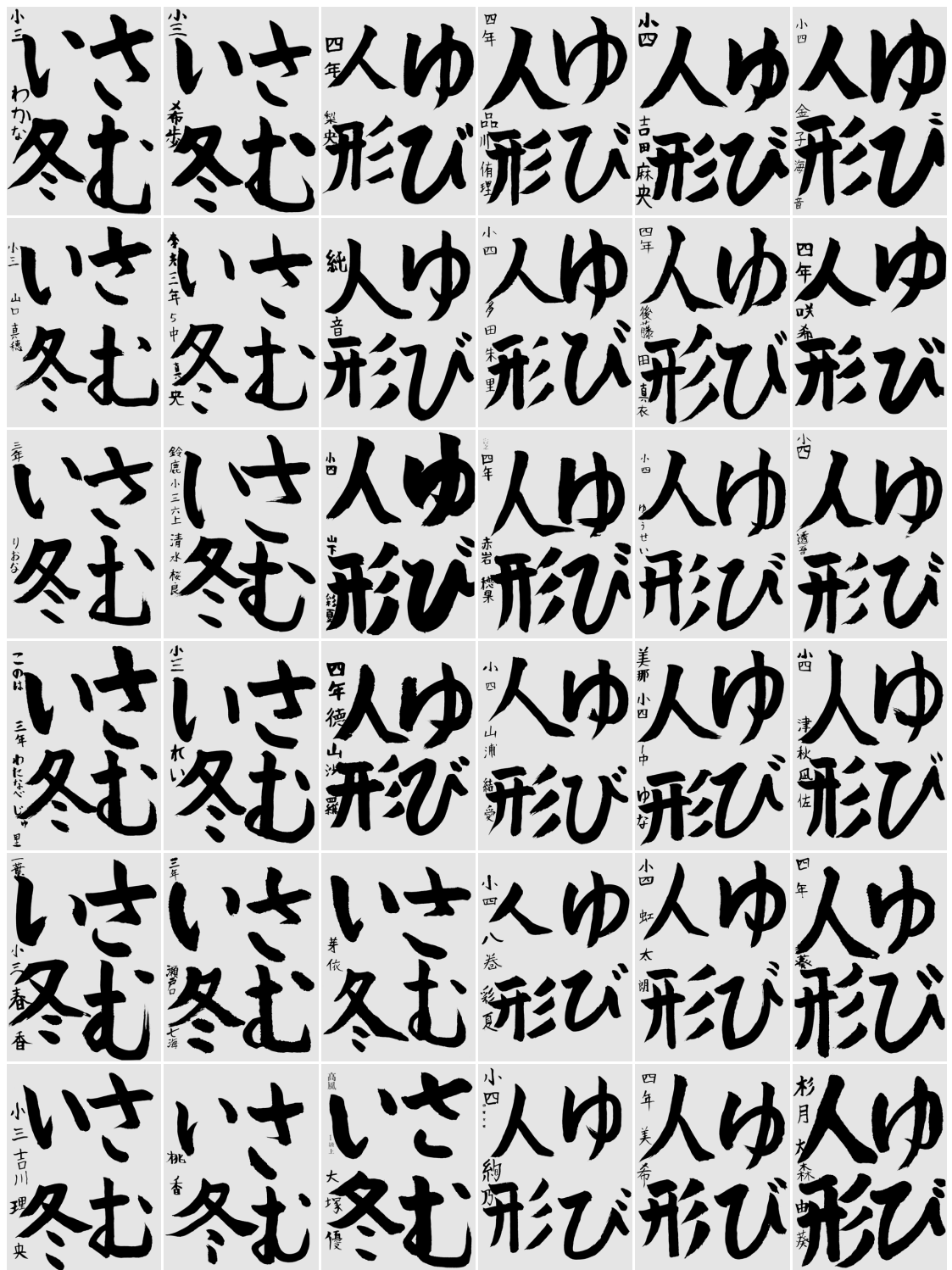
〔行書〕	杉平	若竹	横二	京都	奈華	信大	浅間	八戸	横濱	麗墨	優生	〔級位〕	静橋	船橋	硯扇	四谷	玄燿	竹華	一繪	中央	玄默	〔仮名〕	〔段位〕	李光	杉	若竹	珠紅	柏心	水代	静翠	〔級位〕	横濱	さわ	柏心	倭心
	野生司快風	成澤悦子	柄田幸子	古矢花雪	中野恵	久保田麗香	堀内ちろ子	江戸恵香	南野晨窓	井上和奏	高田倫	宇田川桜子	武居典子	染谷教子	本間彩優花	宮嶋文子	藤井理江	桜井法子	田都美	加藤奈佳	坂本幹太	梅津乃愛		高橋幸江	吉田煌扇	柄澤悦子	飯島真由美	一ノ瀬涉子	桜井圭子	伊勢崎みどり	鈴木鈴	豊泉美里奈	小林莉奈	千葉美保	

小六 直入 単刀	久喜小六 直入 単刀	中一 る船 南下す	中一 る船 南下す	三年 選挙 生徒会	選挙 生徒会
小六 直入 単刀	六年 直入 単刀	土羊中一 る船 南下す	中一 る船 南下す	中二 選挙 生徒会	中二 選挙 生徒会
小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	中一 る船 南下す	船橋中二 選挙 生徒会	中二 選挙 生徒会
小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	中一 る船 南下す	久喜中一 る船 南下す	中三 選挙 生徒会
小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	中一 る船 南下す	中一 る船 南下す	中二 選挙 生徒会
小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	中一 る船 南下す	中一 る船 南下す	中二 選挙 生徒会
小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	小六 直入 単刀	中一 る船 南下す	中一 る船 南下す	中二 選挙 生徒会

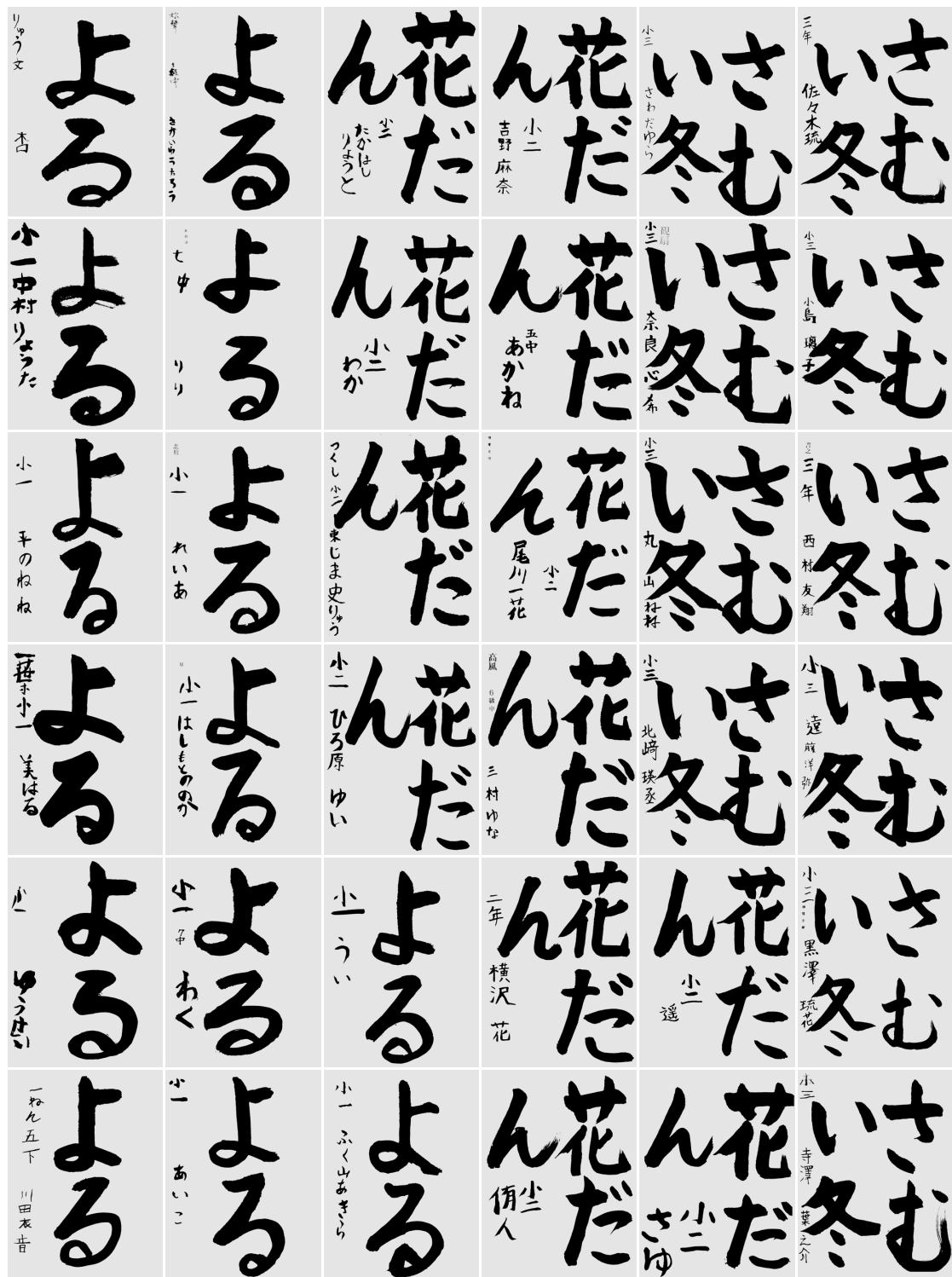
華房玄須中水青飯り霞山久凜高月八小土優霞名有有光倭千久【中】船名花ひ中シ華珠皓【中二・三】
 雪風黙坂野代雲山人墨愛喜心社潮六生墨東象虹雪曲喜橋蓮ま野雪紅花
 梨稲閑谷竹内青柳ゆず小原渡宮崎中山池川北上原神崎まどか加藤志帆
 真綾琴羽和春音一葉六花四季歌鷺心太聖彩聖志帆
 真綾琴羽和春音一葉六花四季歌鷺心太聖彩聖志帆

小四 阿部 秘乃	人ゆ 形び	小五 田鍋 美極子	の夜 灯道	伊奈 無舞衣菜	の夜 灯道	小五 前谷 咲季	の夜 灯道	小五 絢子	の夜 灯道	小六 真道 裡未	直単 入刀
準四 あやめ	人ゆ 形び	小五 高須 大知	の夜 灯道	五年 中本 美咲	の夜 灯道	小五 岩間 光耶	の夜 灯道	小六 実乃果	の夜 灯道	小六 坂田 悠	直単 入刀
大阪 京本 ゆいな	人ゆ 形び	小五 古田 源人	の夜 灯道	五年 悠代	の夜 灯道	浅月 澤玉瑛 竹内 光	の夜 灯道	小五 堀	の夜 灯道	小五 園部 友大	の夜 灯道
人ゆ 形び	人ゆ 形び	五年 三浦 航太郎	の夜 灯道	仙台 小五 快翔	の夜 灯道	龍文 真帆	の夜 灯道	小五 藤原 悠聖	の夜 灯道	小五 晴美 みのり	の夜 灯道
小四 小林 千咲 音	人ゆ 形び	小五 星三上 遙生	の夜 灯道	小五 香花	の夜 灯道	小五 ササ 四段みほ	の夜 灯道	五段 伊藤	の夜 灯道	小五 慶悟	の夜 灯道
小四 鼓乃	人ゆ 形び	小四 実紅	人ゆ 形び	新垣 小五 七枝 香優羽	の夜 灯道	小五 柳澤 笑菜	の夜 灯道	小五 麻央	の夜 灯道	小五 西田 乃	の夜 灯道

【小四】	茅野	杉野	晴美	光丘	練馬	若松	玄機	秀雪	杉	芙二	華雪	玄黙	硯扇	溪月	龍文	珠悠	竹華	伊奈	皓花	山愛	仙台	一絵	新城	有穂	名東	中野	平成	【小五】	茅野	杉野	園部	友大	内藤みのり	千葉	慶悟	由乃	紬子	北川菜乃果	阿津坂	藤原	悠聖	志奏	麻央	咲季	光耶	克	溝口真那佳	山科	実穂	柳澤	笑菜	島田舞衣菜	中本	美咲	小原	悠代	快翔	香花	優羽	田鍋美桜子	高須	大知	源人	古田	三浦航太郎	三上	遙生	栗本	実紅	桜乃	阿部	三浦	彩夢	結奈	美月	岡村	小林千咲音	石川	鼓乃
------	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------	----	----	----	----	-------	----	----	----	----	-------	-----	----	----	----	----	----	----	---	-------	----	----	----	----	-------	----	----	----	----	----	----	----	-------	----	----	----	----	-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-------	----	----



虹苑	一葉	この	山愛	御代	右文	珠紅	宝春	みな	鈴鹿	李光	蓮田	高風	雅	【小三】	大田	志摩	松戸	宮地	華雪	柏心	若竹	書之	和	硯	平成	峰	美那	汀楓	神奈	霞墨	杉月	山愛	瑞祥	凜心	愛心	高社
吉川	中屋	渡辺	和田	山口	片岡	依田	瀬戸	坂本	清水	小川	荻谷	大塚	内田	徳山	山下	野山	渡辺	小野	八巻	山浦	赤岩	多田	品川	野城	齋藤	山田	中田	後藤	吉田	大森	武蔵	津秋	堀井	北澤	金子	
理央	敷春	樹里	莉緒	真穂	和奏	桃香	七海	麗	桜良	真央	希歩	優	芽依	沙羅	彩夏	純音	梨央	乃	夏	結愛	穂果	朱里	侑理	美希	太朗	悠惺	真衣	麻央	由葵	葵	風佐	透吾	咲希	海音		



正柱 佐々木りゅう 有象 小島 璃子 書之 西村 友翔 八潮 遠藤 洋弥 華雪 黒澤 琉花 妻科 寺澤葉之介 秀雪 澤田 ゆら 硯扇 奈良 心希 倭 丸山 寧々 城彩 北崎 瑛丞
 【小三】 秀雪 若菜 遥 光丘 蓮尾 紗幸 練馬 吉野 麻奈 芙二 寺澤 朱音 華雪 尾川 一花 高風 三村 優奈 湊 横沢 侑人 有虹 俣田 花 竹華 高橋 瞭和 若松 松田 史薫 土筆 東島 結衣 霞墨 廣原
 【小一】 友野 有唯 光丘 福山 正瑛 秀雪 酒井友大朗 松聲 柏野 莉理 芙二 小島れいあ 北府 橋本野乃華 星 清水 湧 綾華 平山 愛子 玄黙 駒ヶ嶺 杏 龍文 中村 綾太 照澤 中村 寧音 好野 平野 美温 一葉 内川 悠聖 霞墨 中村 衣音 皓花 川田 衣音

さて、小生も今年二年間のニューヨーク勤務を終え、昨夕帰国いたしました。より急ぎに報告し、幸、し。年月

満足な清書ができたと思ったら名前で失敗した。最後まで気を抜かないことだ。若菜正生 実佳

年末に近くの神社にお参りに行った。おでんとあま酒が配られた。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

年末に近くの神社にお参りに行った。おでんとあま酒が配られた。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

チンパンジーは、石やぼうで木の実をわって食べるそうです。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

チンパンジーは、石やぼうで木の実をわって食べるそうです。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

こんどの土よう日に、クリスマス会をします。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

さて、小生も今年二年間のニューヨーク勤務を終え、昨夕帰国いたしました。より急ぎに報告し、幸、し。年月

満足な清書ができたと思ったら名前で失敗した。最後まで気を抜かないことだ。若菜正生 実佳

年末に近くの神社にお参りに行った。おでんとあま酒が配られた。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

年末に近くの神社にお参りに行った。おでんとあま酒が配られた。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

チンパンジーは、石やぼうで木の実をわって食べるそうです。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

チンパンジーは、石やぼうで木の実をわって食べるそうです。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

こんどの土よう日に、クリスマス会をします。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

自分たちに続く世代の行く末に思いを馳せると、「何のために」かを深く考えて行動したい。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

満足な清書ができたと思ったら名前で失敗した。最後まで気を抜かないことだ。若菜正生 実佳

年末に近くの神社にお参りに行った。おでんとあま酒が配られた。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

年末に近くの神社にお参りに行った。おでんとあま酒が配られた。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

チンパンジーは、石やぼうで木の実をわって食べるそうです。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

チンパンジーは、石やぼうで木の実をわって食べるそうです。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

こんどの土よう日に、クリスマス会をします。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

満足な清書ができたと思ったら名前で失敗した。最後まで気を抜かないことだ。若菜正生 実佳

満足な清書ができたと思ったら名前で失敗した。最後まで気を抜かないことだ。若菜正生 実佳

年末に近くの神社にお参りに行った。おでんとあま酒が配られた。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

年末に近くの神社にお参りに行った。おでんとあま酒が配られた。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

チンパンジーは、石やぼうで木の実をわって食べるそうです。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

チンパンジーは、石やぼうで木の実をわって食べるそうです。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

こんどの土よう日に、クリスマス会をします。
飯山 六・二五
佐藤 舞果

〔硬筆〕
〔一般〕 有虹 伊藤 真緒 大阪 三平 彩加 杉山 知優 上屋敷有也 若松 八恵 京月 名東 松村 勇佑 凛心 秋山 芽奈 〔中学〕 倭 長濱 日子 皓花 中山 莉緒 若松 川島 実佳 知床 濱崎佳志乃 光丘 文野 未桜 龍文 今尾 寧々 有象 齊藤 天音 秀雪 藤田 菜月美 蘆月 加藤 夏実 〔小五・六〕 飯山 白井 まみ 瑞祥 森 愛翔 虹友 井口 晶稀 北馬 倉田 康誠 華雪 河嶋 里奈 河嶋 里奈

[illegible]

[illegible]

[illegible]

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

[illegible]

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

[illegible]

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

[illegible]

[illegible]

注意○作品には支部名・名前・現段級位（規定作品）を必ず記入して下さい。（えんぴつも可）
 その上でバーコード出品券と現段級位を一致させ、出品課題には○印をつけてください。
 ○学生部から一般部に出品される場合、出品券はそのまま使えます。

第80回 謙慎書道会展

第一会場・東京都美術館
期 日・3月17日(土)～3月23日(金)

3月19日(月)は休館日
午前9時30分～午後5時30分まで
(入場は閉室の30分前まで。最終日は午後2時閉会)

第二会場・池袋サンシャインシティ
ワールドインポートマートビル4階
期 日・3月16日(金)～3月22日(木)

午前10時～午後6時まで
(入場は閉館の30分前まで。最終日は午後4時30分閉会)

◇第二会場には特別賞選考委員の小作品を展示いたします◇

主 催 ・ 謙 慎 書 道 会 社
後 援 ・ 読 売 新 聞 社

◆平成三十年度理事會

一月七日(日)午後四時から武蔵野スイングホールにおいて、平成二十九年度事業報告ならびに決算報告、平成三十年度事業計画ならびに予算案等が協議の上、承認されました。

◆第80回謙慎書道会展

〈デモンストレーション〉
日時 三月十七日(土) 十一時～
会場 東京都美術館
本会会長の田中節山先生による席上揮毫が行われます。
〈ギャラリートーク〉
日時 三月十八日(日) 十一時～
会場 東京都美術館
本会副理事長の杉山曉雲先生によるギャラリートークが行われます。

第80回謙慎書道会展特別企画
後援：豊島区教育委員会

文字の水族館

好きな水辺の生き物の文字を書こう！

平成30年3月16日(金)～22日(木)
池袋サンシャインシティワールドインポートマートビル4階
参加費無料
お子様から大人までどなたでも大歓迎

あなたの作品をパネルに貼って、文字の水族館をにぎやかにしてください。

「文字の水族館」とは
豊島区図書館と協賛して「文字の水族館」を開催します。
サンシャインシティ水族館に展示する「文字の水族館」を企画・運営・展示・文字・書道に親しんで頂く会です。
水族館に展示する生き物の名前を、筆で自由に書きましょう。
書いた作品を会場内特別の壁面に貼っていき、個性豊かな「文字の水族館」の出来上がりです。

参加者全員に抽選会を実施

TEL: 03-5221-1136
FAX: 03-5221-1137
ホームページ: http://www.shoshou.com

第80回謙慎書道会展特別企画
後援：台東区教育委員会

文字の動物園

香香誕生記念
パンダの名前を書こう！

平成30年3月17日(土)～23日(金) 東京都美術館
参加費無料
お子様から大人までどなたでも大歓迎

あなたの作品をパネルに貼って、文字の動物園をにぎやかにしてください。

「文字の動物園」とは
上野のパンダの生誕記念として「文字の動物園」を開催します。
上野のパンダの生誕記念として「文字の動物園」を企画・運営・展示・文字・書道に親しんで頂く会です。
動物園に展示する生き物の名前を、筆で自由に書きましょう。
書いた作品を会場内特別の壁面に貼っていき、個性豊かな「文字の動物園」の出来上がりです。

参加者全員に抽選会を実施

TEL: 03-5221-1136
FAX: 03-5221-1137
ホームページ: http://www.shoshou.com

《書展報告》

☆第58回熊日書道展

会場 十二月十九日(火)～二十四日(日)
熊本市立美術館分館

委 員 吉澤蒼雲 中川汀松

無鑑査 小柳貞松

秀 虎本溪風

入 志垣嘉納子 清田光琴 織方愛節

☆第67回福井書法展

会場 十二月二十二日(金)～二十六日(火)
福井県美術館

本会関係

〈特別部門〉特別賞 長谷川清風 出品 斎藤祥山

〈二科〉特選 小林真志 秀作 北川高月

秀作 岩井保乃歌 佐孝美也子

審査員〈特別部門〉畑中高山 山田真菜

〈二科〉藤井懷花 斎藤祥山

審査員〈特別部門〉畑中高山 山田真菜

〈二科〉藤井懷花 斎藤祥山

実技講習會

「第五十七回書象展の作品を作る」

日時 二月十八日(日) 十時～十六時

会場 武蔵野スイングホール

講師 内藤望山先生

会 費 三千円

申込 (当日会場でお支払いください。)

書象会本部までお早めにお申し込み

ください。

☎〇四二二(五三) 九七四三

(研修部)

発行人 (有) 書

代表 上 條 節 夫 象

東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三六

郵便番号180-0001 電話〇四三(五三)九七四三

振替口座 〇〇一九〇一七二二五六九一

振替名義 (有) 書

印刷所 株式会社 リンク 象

氏名